



さかい与謝野晶子

青春の短歌大会

選歌集



与謝野寛・晶子紀行文集「巴里より」 1914(大正3)年刊 徳永柳洲装幀 堺市博物館蔵

海こひし潮の遠鳴り数へつつ少女となりし父母の家



心を形にあらわす歓喜

この「さかい与謝野晶子 青春の短歌大会」は、第四回を迎えますが、ようやくコロナ感染拡大のきびしい生活環境がおだやかな日常を取り戻しつつあるなか、一万首をこえる応募がありました。多感な青春時代をすごす高校生の心は、ときに燃えやすく、ときに傷つきやすいものですが、その自分自身でさえとらえがたい心の微妙な動きを短歌という形に表現するよろこびはすばらしいものです。

そのすばらしさをこの選歌集から共感していただければ幸いです。

今回も選者の今野寿美様、堺歌人クラブ会長の小西美根子様、与謝野晶子倶楽部常任委員の勺禰子様には、たいへんお世話になりました。感謝申し上げます。

与謝野晶子倶楽部会長 太田 登



選ばれても、選ばれなくても

第4回を迎えた「さかい与謝野晶子 青春の短歌大会」、今回も一万五百五十九首という本当に多くの短歌を全国から届けていただきました。応募用紙の一マス一マスを埋める手書きの文字から、一万五百五十九首分の青春の景色があふれていました。かけがえのない日々を生きるみなさんの歌に触れ、時にまぶしく、時に切なく、頼もしく思うことも多くありました。

入賞・入選されたみなさん、本当におめでとうございます。もしかすると今回応募したのは、学校の課題だったから、なのかもしれません。けれど、感受性豊かな十代で短歌に出会ったということ、何物にも代えがたい幸せに思っているのではないでしょうか。晶子は二十代初めて一世を風靡した歌集『みだれ髪』を出し、六十三歳で亡くなるまでに、三万首以上の短歌を詠み続けました。入賞や入選のためではなく、何よりも自分のために詠み続けたのです。今回入選を逃したみなさんの歌の中にも、魅力的な作品が多くありました。選ばれても、選ばれなくても、あなたが生み出した大切な短歌です。大きな視野でものを見て、聞いて、感じて、悩みながら仕上げた自分だけの短歌を、これからたくさん詠み、表現者であり続けてください。

堺歌人クラブ 勺禰子（しゃく・ねこ）

第4回さかい与謝野晶子

青春の短歌大会

次 第

令和六年一月二十七日（土）於 さかい利晶の杜

表彰式 十三時三十分～十四時 一階茶室

選評会 十四時二十分～十五時 一階茶室

講演会 十五時十分～十六時十分 一階茶室

テーマ…『みだれ髪』に読む〈みだれ髪〉
講師…今野寿美



大正期の晶子（文化学院蔵）

第4回 さかい与謝野晶子 青春の短歌大会開催に際して

この度「第4回さかい与謝野晶子 青春の短歌大会」が無事開催の運びとなり、開催に際しご尽力賜りました関係者の皆様に、心から御礼申し上げます。また、今回10,559首もの作品が日本全国から晶子のふるさと・堺の地に寄せられましたこと、大変嬉しく感じております。短歌を通して、青春の1ページを見事に表現された皆様の豊かな才能と感性に大きく期待するとともに、今後の更なるご活躍を心からお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

さかい利晶の杜 館長 福森 浩幸

与謝野晶子の表現世界とその生き方に触れる

さかい利晶の杜 与謝野晶子記念館

『みだれ髪』にはじまる多くの詩歌集を出版し、また『源氏物語』の現代語訳や、社会問題、教育問題にかかわる評論活動まで行い、明治・大正・昭和という激動の時代にあつて、常に新しい世界に挑戦し、表現し続けた晶子の姿を紹介する文学館です。



さかい利晶の杜

Sakai Plaza of Rikyu and Aiko

〒590-0958 大阪府堺市堺区宿院町西2丁1番1号 TEL 072-260-4386
<https://www.sakai-rishinomori.com>



薫村・礼蔵・鉄幹・晶子…

まちの文化が香たつ、短歌と俳句の資料館

与謝野町立江山文庫

■開館時間

午前9時～午後5時（入館は4時半まで）

■休館日

毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
年末年始（12/29～1/3）

■入館料

小・中学生100円 一般200円
団体（8名以上）は50円引き

歌会などに使える研修室もございます。

【企画展のお問合せ、団体見学のお申込はこちらへ】
〒629-2421 京都府与謝郡与謝野町字金屋1682
TEL 0772-43-2180 FAX 同
URL <http://www.kozan-bunko.sakura.ne.jp/>



目次

主催者挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第4回さかい与謝野晶子青春の短歌大会	
表彰式・選評会・講演会次第・・・・・・・・	2
さかい利晶の杜（共催者）、与謝野町	2
目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
短歌賞ヒストリー・・・・・・・・・・	3
選者紹介・・・・・・・・・・・・・・・・	3
選考経過・・・・・・・・・・・・・・・・	3
入賞作品・・・・・・・・・・・・・・・・	4
最優秀校・・・・・・・・・・・・・・・・	6
入選作品・・・・・・・・・・・・・・・・	7
	10

短歌賞ヒストリー

全国を展望する恒久的な与謝野晶子顕彰事業として、第1回「与謝野晶子短歌文学賞」は堺歌人クラブ会長を実行委員長とし平成7年に堺市で開催されました。その後、平成15年の9回からは、産経新聞社主催で開催いただくことになりました。



泉陽高校にある「君死にたまふことなかれ」の詩碑

産経新聞社主催での与謝野晶子短歌文学賞が第24回をもって休止したことを受けて、与謝野晶子倶楽部と堺歌人クラブが堺市と連携し、令和の新時代に与謝野晶子の魅力を広く発信するため、青春の短歌に焦点をあて、新たに「第1回 さかい与謝野晶子 青春の短歌大会」を開催し、本年度第4回大会となりました。開催にあたり、産経新聞社と与謝野晶子の出身校である大阪府立泉陽高等学校には継続して協力をいただきました。晶子の夫寛（鉄幹）の実父与謝野礼蔵の生誕200年を迎える令和5年度より、その礼蔵の生誕の地である与謝野町の協力をいただくことになりました。

選者紹介

こんの
今野 寿美氏



1952年東京都生まれ。歌誌「りとむ」編集人。宮中歌会始選者。昭和54年に「午後の草」で第25回角川短歌賞受賞。平成元年に『世紀末の桃』で第13回現代短歌女流賞、22年に『かへり水』により第37回日本歌人クラブ賞ほか。歌集に『若夏記』『龍笛』『さくらのゆゑ』など。『24のキーワードで読む与謝野晶子』『みだれ髪訳注』『歌ことば100』『森鷗外ー短歌という詩型に生涯愛情を持ち続けた文豪』など、与謝野晶子、「明星」をめぐる著書がある。

【総評】

コロナ禍を経てようやく本来の高校生活の活気と楽しさ、厳しさを取り戻した校内風景。高校生の目を通して生き生きと伝えられたその一つ一つに微笑まれたり感心したり。遠い日を甦らせながら、じっくりと味わいました。

選考経過

令和5年度の「第4回さかい与謝野晶子 青春の短歌大会」では、高校生を対象に短歌の募集を行いました。募集は、6月1日から9月8日の期間で実施し、全国の高校53校、6,267名から10,559首のご応募がありました。北は秋田県から南は福岡県まで全国の高校生からたくさんのお応募をいただきました。学校単位の団体応募は44校で、最多の投稿をいただいた高校は、1,199首でした。

選考については、1次選考を堺歌人クラブで行った上で、今野寿美氏に最終選考をお願いしました。上位10首並びに選者賞を入賞とし選評をいただくとともに、68首の入選歌を選んでいただきました。また、複数の入賞や入選を果たした学校から最優秀校を決定いたしました。

大賞

桐壺とモル計算の問題が飛び交う
文理混合クラス



大谷高等学校 中島 優画

私の高校三年生のクラスは文理混合クラスなので、全員で受ける授業は一日二回程度の英語やホームルームだけ。テスト前のその授業の自習では、古典と化学などの別々の勉強をしていました。私の青春であるクラスの短歌が大賞に選ばれ、とてもうれしいです。

選評

文系・理系の話題は全く別。飛び交うなかからこの二つを代表させて挙げた手際が抜群です。表現センスのよさに感服しました。

与謝野晶子倶楽部賞

頭の上を赤信号でも進む雲私の知らない世界を知ってる

松商学園高等学校 野口 彩花

選評

いくぶん羨望を抱いて仰いだ雲。広く知り、見たいと望む十代の意欲と好奇心を率直に言う姿勢が快く、表現もさわやかです。

堺歌人クラブ賞

「ジュケンセイ」ガラスのハートにヒビ入るその呼びかたは私に似合わず

静岡県立浜松湖南高等学校 戸塚 椎菜

選評

ただでさえデリケートな年代なのに辛い現実ですね。でも、繊細な感覚を生かした比喩が冴えています。励ましたくなりました。

さかい利品の杜賞

ただ一人太平洋で発生しいつも暴れる台風だった

大阪府立鳳高等学校 木元 宏太

選評

ゴジラの誕生かと思いつながら台風と知って納得しかけると、その主体が作者。少年期の腕白ぶりか、ユニークな仕掛けが嬉しい一首。

堺市長賞

誰々の次男と彫った石碑には名すら残らぬ一つの命

愛知県立津島高等学校 川原 大悟

選評

修学旅行先の沖縄で平和の礎の名をたどり、悲惨な戦史に泡と消された命を一心に思う歌。悼む心の真摯な語りが際立っています。

堺市教育長賞

描いた絵よりも私が好きなのはどんどん染まる白いパレット

大阪府立いちりつ高等学校 平間 柚季

選評

色彩の無秩序のひしめきそのものが面白いということ。パレットはそれ自体、一枚の絵画に匹敵するのですね。共感しました。

大阪府知事賞

誰もいない放課後一人教室でそっと座ろうあなたの座に

大阪府立富田林高等学校 岡崎 光夏

選評

クラスメートへの淡い恋心。つつましい決断とささやかな意思表示。でも、そこにリアリティと十代の身の丈のよさがあります。

与謝野町長賞

本当は海を見ずとも知っている必要なのは飛び込むことだと

羽衣学園高等学校 中井 莉乃

選評

人生何事も英断あつてこそ、という主張が潔く、さわやかです。海という場が青春に似つかわしく、上の句からの流れも個性的。

大阪府立泉陽高等学校賞

瞳に映る全ての物が澄んでいてガラスのような何気ない日々

大阪府立泉北高等学校 岡上 晴香

選評

はかなく崩れそうでいて平穩そのものの今の日常を全肯定的に受けとめようという一首です。現実を愛おしむその心がいいらしい。

産経新聞社賞

どこまでも続くと思う水平線僕の世界はまだ狭いのだ

大阪府立いちりつ高等学校 吉村 はるね

選評

途方もなく広大な風景を前に、ためらいなく自分の見の狭さを言えるなんて、そのみで見上げたもの。対比しての叙述も万全。

選者賞

放課後の補習を「バビロン捕囚」と言う世界史教師はひそかにモテて

伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 野口 遥菜

選評

専門を生かして洒落のめず教師のウィットに富む指導と、それを喜ぶ生徒の素直な真面目さが実に快い。気詰まりな補習はイコール捕囚ともいえるし。きつと先生は若く、実際もてそう。補習だつて苦じやないかもしれません。明るいい校内風景を思いました。

フィクションのヒーローたちにはなれないがリアルを生きるぼくはぼくだけ

京都府立嵯峨野高等学校 長瀨 快樹

選評

文豪の名作よりも現代作家の冒険小説や青春ものが人気のようですが、読書好きの高校生も少なくないですね。軽快な口調でヒーローに及ばない自分について言っても、下の句では立派に切り返して自分の固有性を主張。なかなか頼もしく爽やかな青春歌です。

夏の海夕日がつくる長い道だれか遠くへ連れ去ってくれ

関西大倉高等学校 竹本 梨夏

選評

夏の日暮れの海には夕日が長い道を描き出します。遙かなその先を思い、現状打開を願ったのでしょうか。行きなずんでいたのか切実な思いから、とつさに捨て鉢な言い方が飛び出したところも自然で、むしろ一首の印象を深くしています。青春期ならではの歌です。

最優秀校賞

大阪府立

いちりつ高等学校

(大阪府)



大阪府立いちりつ高等学校 「花咲く丘」

堺市教育長賞

描いた絵よりも私が好きなのはごんごん染まる白いパレット

平間 柚季

産経新聞社賞

どこまでも続くと思う水平線僕の世界はまだ狭いのだ

吉村 はるね

入選

ネガティブで自己肯定感低いけどそんな自分を好きになりたい

山内 葵

夏まつり男同士で盛り上がる本音はみんな彼女と来たい

竹縄 優和

烏兔^{うと}匆匆^{そうそう}という意味か調べようとスマホを触って気づけば夜に

笠原 大

マスクなし思ってたんちよと違う勝手に期待して勝手に落ち込む

澄川 佳奈

入選

ステージの光へ進む君が持つ金の楽器がただ眩しくて

静岡県立浜松湖南高等学校 新村 咲弥

あと少し一緒にいたい気持ちだけホームに残し乗る在来線

会津若松ザベリオ学園高等学校 阿久津 美優

青春は甘酸っぱいと言うけれど辛いのも青春の味

神戸市立神港橋高等学校 高見 美優

ネガティブで自己肯定感低いけどそんな自分を好きになりたい

大阪府立いちりつ高等学校 山内 葵

夏まつり男同士で盛り上がる本音はみんな彼女と来たい

大阪府立いちりつ高等学校 竹縄 優和

うとそうぞう
烏兔匆匆という意味か調べようとスマホを触って気づけば夜に

大阪府立いちりつ高等学校 笠原 大

マスクなし思ってたんとちよつと違う勝手に期待して勝手に落ち込む

大阪府立いちりつ高等学校 澄川 佳奈

我一人真顔でくぐった校門を今では友と笑顔でくぐる

大阪府立富田林高等学校 押谷 心優

下校中空を見上げて写真撮る同じ空はまだ一つもない

大阪府立富田林高等学校 渡邊 琴音

あたまのなか
考查前教科書開くが分からない集合Aは空集合だ

大阪府立富田林高等学校 竹元 颯希



終わりがたくないよと夏が叫んでる気がして僕は夜を徹する

大阪府立富田林高等学校 直木 湊

すきだとかおはようだとか妄想で頭にあるのは画面の吹き出し

徳島県立城東高等学校 林 はな

君を知る痛みは僕に大切な傷を刻んで残すだろう

徳島県立城東高等学校 笹田 小羽音

あの頃はけんかしてても会っていた今は会うのに理由がいる

大阪府立布施高等学校 中島 唯

プレゼント年取る度になんて嬉しものは物より意味

大阪府立布施高等学校 羽田 健真

気まぐれな楽器の機嫌取るために部屋の温度に敏感になる

関西大倉高等学校 増井 美郷

夕方の雨に理由があるらしい積もる君との恋のテトリス

星野高等学校 金光 舞

白い息たすきがゆれるこの行事辛い辛いと心が叫ぶ

山口県立柳井商工高等学校 遠藤 ゆかり

あこがれのセーラー服着てふみだした足元ひらり桜が舞った

明浄学院高等学校 野地 彩友美

集合の合図とともに走り出すやる気に満ちた仲間の背中

松商学園高等学校 柳澤 雅楽

金魚すくいが得意だった君にまだ飼われたままの私のこころ

松商学園高等学校 藤井 優采

記憶には留めきれないあの夏をスマホの中で思い出してる

松商学園高等学校 田中 悠太

夏休み目覚ましなしで起きたとき幸せ感じる午後二時半

初芝富田林高等学校 山本 有花

新しい暗記シートの静電気いまあたらしい春がはじまる

初芝富田林高等学校 森崎 奏

一ページまた一ページとめくられる気付かぬうちに読み終えた物語

大阪府立泉北高等学校 速水 沙夏

マイ楽器夏休み中吹き続けやつと育った最高の友

大阪府立市岡高等学校 田上 睦歩

今はまだ体感できない青春は四十を超えて感じるだろう

大阪府立狭山高等学校 大蔵 航

図書室に本を求めて通う君きつかけ求め通う自分

大阪府立狭山高等学校 淡田 風花

笑顔とか輝く波とか飛沫とか君にとっては海さえずり方

大阪府立交野高等学校 秋丸 野々香

夏祭りプールにカラオケ遊園地全てが僕の机上の空論

大阪府立交野高等学校 篠崎 寛太

サボろうかふと思う自分に腹をたてて今日もやる気をふるいたたせる

大阪府立交野高等学校 上田 琥白

楽しみで仕様が「なかった」月曜日成長するとはこういうことか

京都府立嵯峨野高等学校 笹川 日向

雪の中遊ぶ準備はできている雪が降るかが問題である

羽衣学園高等学校 平山 華

青春の真っ只中の今だから気づけることと気づけないこと

大阪緑涼高等学校 中川 芽生子

冷房をつけても暑いと会話して扇風機だけが首横に振る

大阪府立金岡高等学校 村田 彩香

憂鬱なバケツの中での食事中ポイにすくわれた金魚の私

大阪府立三国丘高等学校 西畑 颯真

君の心君の笑顔に救われた金魚一匹すくえない僕

大阪府立三国丘高等学校 西口 翔太

教室の窓辺に座るあの人とうまくいくのは夢の中だけ

大阪府立三国丘高等学校 下町 駿斗

出かけようそんな会話で日が暮れて「どこ」より「だれ」が大切と知る

大阪府立三国丘高等学校 森田 多聞

いつだってその瞬間は過去になるそうして今は今だけ生きる

大阪府立三国丘高等学校 田中 優

前髪で前が見えない夏の日に共に揺れてる自分のところ

大阪府立三国丘高等学校 加藤 由

接戦のボールを投げる少年の額の汗に夏が砕ける

香川県立善通寺第一高等学校 原 悠人

CMの少女は私 帰り道アイスクわえて自転車をこぐ

秋田県立秋田中央高等学校 佐藤 由珠

ベルマークそのまま捨てる僕はもう小雨みたいに優しくなれない

神奈川県立光陵高等学校 猪野田 涼奈

記録的接近ののち離されるそういう星の下に生まれた

神奈川県立光陵高等学校 池野 弘葉

「ちはやふる」途端に多くの手が伸びるみなさん映画を観たのでしょうか

長野県白馬高等学校 林 璃宮

通り雨相合い傘の帰り道肩の隙間に静けさ通る

大阪府立美原高等学校 富永 一花

ケンカしておはようもない今日の朝お弁当には気をつけての紙

京都府立南丹高等学校 藤川 凜月

さよならの声にまたねと返事するまた会おうと言う勇氣はないから

北九州工業高等専門学校 桑本 奏

個々の音一度ばらして組み立てて大きくて丸い一つの音へ

大阪府立鳳高等学校 山下 実和

矢印は私の方に向いてないゼロベクトルで解はなしかな

大阪府立鳳高等学校 山岡 凜

立ち止まりカメラを向けたその先はひまわり越しに見える夕焼け

大阪府立鳳高等学校 西村 心優

僕たちはちゃんと見ながら生きている今を見ながら未来を見ながら

大阪府立鳳高等学校 金丸 眞廣

宿題があと一つだけ終わらない君を花火に誘うことだけ

東京都立町田高等学校 幕田 雪丸

ガヤガヤとさわがしいなと思ったら先生登場びたつと静か

柳井学園高等学校 守田 薫子

恩師から「ひとりじゃないよ」グッときた一人で頑張る必要はないよ

柳井学園高等学校 石田 楓華

包丁を使わず指で剥けちゃうの毎年届く祖母からの桃

学習院女子高等科 丸山 恵生

ひゆるると火の玉の鳴くこえのあと夜空に爆ぜて花火は死んだ

学習院女子高等科 伊藤 萌絵

青春の今だからこそ気づく事青すぎるから気づけない事

愛知県立佐屋高等学校 藤内 桃恵

君宛てにはなった言葉落下して二人の間静けさ残る

大阪府立大塚高等学校 上谷 葵

嫌われるそんなことは気にするな恐れるべきは一人でいること

堺市立堺高等学校 木村 瑛心

午前二時^{かなた}彼方の川の輝きに負けじと光る我ら夏の夜

大阪府立千里高等学校 竹内 大晴

波の音鳥の鳴き声風の音まぶたの裏で感じる琵琶湖

大阪府立千里高等学校 小久保 匠吾

帰り道夕日をまとう影二つ弾む会話で明日が色づく

京都府立宮津天橋高等学校加悦谷学舎 井上 涼

文化祭手間ひまかけた衣装たち資源ゴミ化は一時間弱

京都府立宮津天橋高等学校加悦谷学舎 榊山 菜津子

生物の資料集にのめり込み気づけばオタク化38時間

四天王寺高等学校 牧野 聖華

奮い立て泰山木の花のごと僕の未来はきつと明るい

清風高等学校 阪口 慶樹

もどかしい気持ちを詠んでみたいけど身体のごくにも言葉はなくて

東海高等学校 松井 宏志郎



与謝野晶子のプロフィール

与謝野晶子 [明治 11(1878)年 12 月 7 日 - 昭和 17(1942)年 5 月 29 日]

堺市甲斐町の菓子商駿河屋二代目鳳宗七とつねの三女として生まれました。本名は鳳(ほう)晶(しょう)。幼少期から帳場の手伝いのかたわら源氏物語に親しみ、大阪府立泉陽高等学校の前身にあたる堺女学校を卒業後は、詩歌の世界にめざめました。新しい詩歌の旗手であった与謝野鉄幹(寛)と出会い、「明星」を代表する歌人として活躍し、第一歌集『みだれ髪』は石川啄木ら当時の文学青年たちに多大の影響を与えました。その後も「君死にたまふことなかれ」や多くの秀歌を発表し、「日本女詩人の第一人」として時代の頂点を極める存在になりました。

晶子は『春泥集』『夏より秋へ』などの詩歌集だけにとどまらず、小説集、童話集、評論集、歌論書のほかに『新新訳源氏物語』『新訳紫式部日記・新訳和泉式部日記』などの古典の現代語訳を刊行し、さらにヨーロッパから帰国後は、女性の自立と地位の向上をめざした評論活動、教育活動にも大きな功績を残しました。明治、大正、昭和という激動の時代にあって、すぐれた「先見性」と「国際性」をもって「表現者」として真摯に生きた晶子のメッセージには、21 世紀を生きる私たちにも勇気と感動を与えるものがあります。

主 催・・・与謝野晶子倶楽部、堺歌人クラブ

共 催・・・さかい利晶の杜

後 援・・・大阪府、堺市、大阪府教育委員会、堺市教育委員会

特別協力・・・与謝野町、大阪府立泉陽高等学校、産経新聞社